

新潟県納税貯蓄組合総連合会長賞 優秀

私たちに大切な税金

長岡市立南中学校

二年 林 優里

私は今まで、税については消費税ぐらいしか分かりませんでした。今回、講演を聞いたり資料を見たりして、自分の身近な所に税がたくさんあることを知りました。例えば自動車税や固定資産税や所得税などは実際、私の母も納めていることを知りました。

私は、母と一緒に買い物に行くと「消費税は高いよね。それなのに来年からは、もっと高くなるからいやだね。消費税がなければ、もっと多くお菓子を買えるのに。なんで税が全ての物にかかって、払わなければならないんだろう。」と書いていました。でも私の母は「税がないと困ることがたくさんあるんだよ。うちだってそのおかげで助かってるんだよ。」と言っていました。私はその時は、よく意味が分かりませんでした。

今から四年くらい前に、私の祖父が病気になり、入退院を何度もくり返し、退院して来てもまたすぐに具合が悪くなつて救急車で搬送されてCTやMRIなどの検査もたくさんしました。検査の結果、次々と病気が見つかり三度も手術が行

われました。点滴での投薬や定期的な輸血治療が必要となりました。度重なる入院費や手術代、治療代、薬代がかかるようになり、退院後は在宅介護に必要な物をそろえる費用も必要になりました。私の母がいろいろと悩んでいると病院の先生から病状や今後の治療の説明と同時に相談窓口を紹介してもらい、後期高齢者医療制度の高額療養費の申請手続きや身体障害者手帳交付の手続き、介護保険の申請手続き、在宅介護支援センターなどを勧めてもらったそうです。そのいろいろな制度のおかげで医療費の負担も減り、様々な介護支援サービスを受けられるようになりました。

祖父は、どんどん病状が悪化し二年前に息を引き取りました。最後まで、病院でできる限りの治療を受けることができました。母は市役所の窓口で医療費の負担を軽減するための申請手続きや身体障害者の福祉サービスや在宅介護支援サービスの申し込みをした時に、いろいろな分野での細かいサービスや免除があることを知って、とてもありがたかったそうです。家族に病気の人がいると精神的にも体力的にも経済的にも負担が増えます。その負担を少しでも軽くするために、多くの人が一生懸命働いて納めている税金が使われています。今まで私は、何で税を納めなければいけないのかと不思議に思っていました。祖父の件で税を納めることの大切さを知りました。

私が大人になって働くようになったら、税金を納めることを誇りに思って少しでも社会に貢献していきたいと思えます。